

にできること

保護された子どもは、どんなところで暮らすことになるの？

虐待を受けた子どもが危機的な状況にあると判断された場合などには、児童福祉法によって児童相談所が一時保護します。その後、家に帰せないと判断された子どもは、児童福祉施設に入所したり、里親さんのもとで暮らすことになります。関係する児童福祉施設には、児童養護施設、乳児院、児童自立支援施設、情緒障害児短期治療施設、母子生活支援施設などがあります。

乳児院

乳児（1歳未満児）や幼児を養育する施設です。家族に対しても養育に関する相談やアドバイスを行っており、入所した子どもの6割以上が両親や親族の元に帰ります。

全国乳児福祉協議会
(<http://www.nyujin.gr.jp/>)

児童養護施設

虐待を受けた子どもや保護者のない子どもなどが18歳（場合によっては20歳）まで生活する施設です。子どもの心理的なケアや個別的な対応を行い、家族に対する支援を行うとともに退所後の相談や援助も行います。

全国児童養護施設協議会
(<http://www.zenyokyo.gr.jp/>)

児童自立支援施設

家庭環境による非行やその他の理由により生活指導等を要する子どもが入所する施設で、生活指導や学習指導などの自立支援を行っており、退所後の相談や援助も行います。

全国児童自立支援施設協議会
(TEL.059-232-2598)

情緒障害児短期治療施設

虐待を受けた子どもなど、心の治療が必要な子どもが入所または保護者の元から通所し、施設や家庭で生活しながら治療する施設で、医師や心理療法を担当する職員などが配置されています。

全国情緒障害児短期治療施設協議会
(<http://www.geocities.co.jp/NeverLand/8448/>)

母子生活支援施設

配偶者のない母親などと18歳（場合によっては20歳）までの子どもを保護し、母子の生活や自立を支援している施設です。

全国母子生活支援施設協議会
(<http://www.zenbokyuu.jp/>)

自立援助ホーム

施設等を退所し就職する中学校卒業児などに対し、ホームでの暮らしの中で相談、その他の日常生活上の援助を行い、自立した生活ができるよう支援します。

全国自立援助ホーム連絡協議会
(<http://www1.odn.ne.jp/jienkyou/>)

里親さんになろう

虐待を受けた子どもや家庭で養育できない子どもを家庭的な環境の中で家族のように育てるのが里親です。子どもが地域において里親から温かい愛情を注がれながら暮らすことができるとも大切な制度です。なお、里親に対しては相談や養育援助などの支援が行われています。

里親になりたい場合

児童相談所に申請し、児童相談所が申請者の家庭の状況などを調査。その後、各都道府県の社会福祉審議会などの意見を聴いて、里親になることが適当と認められると、知事が里親として認定します。里親への子どもの委託は、登録された里親の中から児童相談所が決定します。子どもを養育している間は、里親手当、子どもの生活費や教育費などが支給されます。

お問い合わせ 地域の児童相談所まで



オレンジリボンの運動を知ってください

～オレンジリボンには、「子ども虐待防止」というメッセージが込められています～



子どもが虐待によって命を奪われるという痛ましい事件をきっかけに、オレンジリボン運動が始まりました。オレンジリボンを見たときに、子どもへの虐待防止を思い出してください。オレンジリボンの運動を、全国に広げていきましょう。

リボンに、オレンジ色を選んだ理由

ーオレンジ色はあたたかさや明るさの象徴ですー

オレンジ色は里親家庭で暮らす子どもたちが選んでくれた色です。子どもたちは胸の中できっとオレンジフルーツのような明るさと、暖かさを大人に求めているのかもしれない。

オレンジリボン運動の起源は、痛ましい事件から

2004年、栃木県小山市で3歳と4歳になる二人の可愛らしい兄弟が何度も何度も父親の友人から暴行を受けていました。警察に通報されていったんは保護されながら、周囲の諸機関が適切な措置を取らなかったために、9月11日ガソリンスタンドや車の中でまたさんざん暴行を受け、息も絶え絶えの状態でもの上から川に投げ込まれて幼い命を奪われる、という痛ましい事件が起こりました。

2005年、栃木県小山市の「カンガルーOYAMA」という団体が、二度とこのような事件が起こらないようにという願いを込めて、子ども虐待防止を訴える「オレンジリボン運動」を始めました。そして、NPO法人「里親子支援のアン基金プロジェクト」が協力し、大きく育てました。

オレンジリボンに願いを込めて、全国に活動を広げています

子どもが虐待を受け、近年、命を失ってしまうという事件が年間約50件近く起きています。それだけではありません。虐待を受け、苦しんでいる子どもたちが増え続けています。そして、その苦しみの余り自らの命を絶ってしまう子もいます。

私たち児童虐待防止全国ネットワークは、このような事件が決して起きてはならないという願いを込めて、2006年からオレンジリボン運動の総合窓口を担っています。

国や自治体などのバックアップもあり、子ども虐待の現状に直面する児童福祉の関係者をはじめ、各種団体・企業・個人の皆様へと、全国的に活動が広がっています。



オレンジリボン憲章

私たちは、子どもの成長と発達を支援することが
社会全体の責任であることを自覚して、
次のとおり行動します。

- ① 私たちは、子どものいのちと心を守ります。
- ② 私たちは、家族の子育てを支援します。
- ③ 私たちは、里親と施設の子育てを支援します。
- ④ 私たちは、地域の連帯を上げます。

私たちは、子ども虐待のない社会を目指します。

啓発活動のための各種ツール

オレンジリボン運動は、一人ひとりの胸にオレンジリボンをつけていただき、「子ども虐待」について知ってもらうための活動です。ピンバッジやポスター、チラシなどの配布やホームページなどを通じて、広く皆様に虐待に関する情報を提供しています。

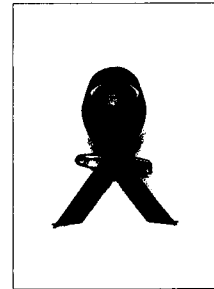
ピンバッジ

オレンジリボンのピンバッジです。いつも身につけていただき、子ども虐待防止をPRしてください。台紙にもオレンジリボンのメッセージがこめられています。500円の寄付に対するお礼としてお渡ししています。



布製オレンジリボン

市販のリボンを使用し、ご自身で手軽に作れます。イベントや街頭などでの配布など、広くご活用いただけます。ホームページで作り方を紹介しています。



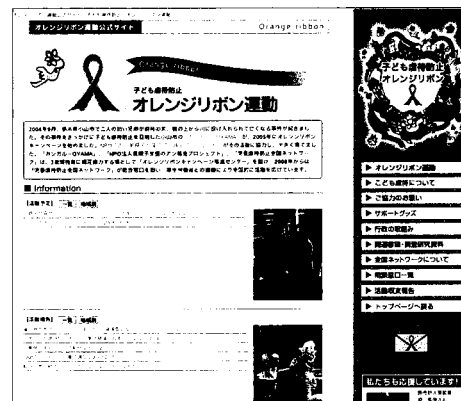
ポスター・チラシ

「子どもへの虐待をなくそう!」とオレンジリボンの趣旨を説明するポスターとチラシを配って、子どもへの虐待防止を呼びかけています。



ホームページ

オレンジリボン運動公式サイトでは、オレンジリボン運動の活動紹介のほか、子どもへの虐待についての説明や統計データなどの紹介、相談窓口の一覧も掲載しています。



<http://www.orangeribbon.jp/>

子どもを虐待から守るための5カ条

- 1 「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告してください)
- 2 「しつけのつもり」は言い訳(子どもの立場に立って判断しましょう)
- 3 ひとりで抱え込まない(あなたにできることから即実行しましょう)
- 4 親の立場より子どもの立場(子どもの命を最優先しましょう)
- 5 虐待はあなたの周りにも起こりうる(特別なことではありません)

自治体や企業も、オレンジリボン運動に

民間団体、企業、自治体、厚生労働省等にご協力いただき、子ども虐待防止の象徴として「オレンジリボン」を子ども虐待防止活動のいろいろな場面（イベント、ツール作成、街頭配布等）で活用していただいています。オレンジリボンのホームページ（<http://www.orangeribbon.jp/>）でも、全国のイベント告知や情報を随時紹介しています。（以下ご紹介は、2007年度の一例です）

シンボリックな建造物のオレンジライトアップ

- 東京都庁、レインボーブリッジ（東京都）
- 群馬県庁昭和庁舎、群馬会館（群馬県）
- 明石市立天文科学館（明石市） 等



群馬県庁昭和庁舎

オレンジリボンツリー等オブジェの作成・設置

- 愛知県（一万人のオレンジリボンタワーキャンペーン）
- 三重県（県庁ロビー、みえこどもの城）
- 大阪市（市役所正面玄関）
- 高松市（市役所、市民ホール）
- 岡山市（岡山駅前街頭キャンペーン）等



岡山市オレンジリボンツリー



みえこどもの城
オレンジグラスツリー

オリジナルグッズの制作・配布キャンペーン活動

- 20自治体以上でチラシ、シール、ティッシュなどを作成し、街頭などで市民に配布



群馬県

オレンジリボンバス、電車など

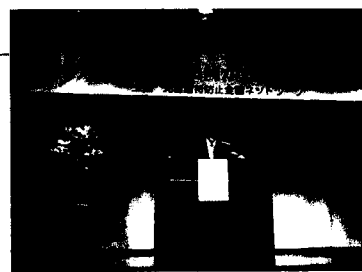
- 熊本市（市電）
- さいたま市（市バス） 等



熊本市電

シンポジウム、研修会等での活動

- 日本子ども虐待防止学会 第13回学術集会三重大会
- NPO子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク（第10回子ども虐待防止シンポジウム）
- 神奈川県（「こどもの未来を守ろう」～地域のネットワークで虐待防止～）
- 厚生労働省（「子どもの虐待防止推進全国フォーラム inくまもと」）
- 児童虐待防止全国ネットワーク「いま、家族に何が起きているか」講演会 等



「いま、家族に何が起きているか」講演会

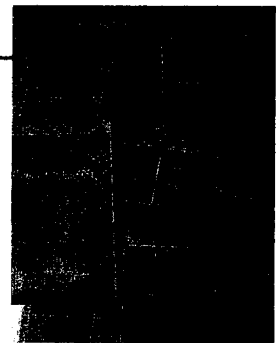
プロスポーツなどでのPR

- 読売ジャイアンツ（ジャイアンツファンフェスタ）
- 広島カープ（広島－巨人戦）
- ファジアーノ岡山FC（サッカー教室） 等

取り組んでいます

🎗️ TV、新聞、雑誌、電飾看板などでのPR

- 読売新聞(11月6日～10日、特集連載記事等)
- アーチビジョン渋谷(東京・渋谷駅前の大型画面でのCM放送)
- 熊本日々新聞社(月刊誌掲載)、
- 東京ドーム(ジャイアンツファンフェスタ・読売新聞社の協力)
- 広島市民球場(広島ー巨人戦・広島県の協力)
- 埼玉県(大宮駅前大画面での放映)
- 茨城県(NHK県域デジタル放送)
- 厚生労働省(民放各局でのTVCM)
- 福祉新聞(特集記事)



読売新聞2007.11.1～11.5

🎗️ ユニークなイベント等での活用

- 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社
(店頭のカーネルサンダース人形がオレンジたすきをかけた)
- フィリップモリスジャパン株式会社(オレンジリボンカー)
- MULTEE.PURPOSE(音楽イベントでのブース出展協力)
- 日本子ども虐待防止民間ネットワーク「全国一斉 子育て・虐待防止ホットライン」チラシ
- オリジナルオレンジリボンキャンペーンソングの作成「Here I am」歌:中西圭三(岡山市)
- 愛知県児童総合センター(「赤と黄色の間」イベント)
- 子どもの虹情報研修センター等(「オレンジリボンたすきリレー」箱根～大手町)
- 児童虐待防止全国ネットワーク(「子どもの虐待死を悼みのちを語る市民集会&パレード」) 等



市民集会での中西圭三さん

「オレンジリボン」個人サポーターになってください

オレンジリボン運動を支援していただける個人サポーターを募集しています。

サポーターとして、オレンジリボンバッジを胸につけ、子ども虐待防止をアピールしてください。

子ども虐待の現状を知り、周りの人にも伝えてください。また、各地の自治体・虐待防止団体などの実施する虐待防止のためのイベントやシンポジウムなどへの参加や、ボランティアなどご協力ください。

サポーター登録には入会金、登録料、会費など費用は無料です。

お問い合わせ先・登録方法

オレンジリボン運動のホームページから登録できます。(http://www.orangeribbon.jp/)

インターネット環境にない方は、電話やFAXにてお問い合わせください。(オレンジリボン運動事務局 TEL&FAX:03-6380-6380)

後援/内閣府、文部科学省、厚生労働省、日本子ども虐待防止学会、財団法人こども未来財団、読売新聞社 ほか

協賛/財団法人SBI子ども希望財団、フィリップモリスジャパン

支援団体・企業/日本子どもの虐待防止民間ネットワーク、NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク・あいち、ネグレクトを知る会、子どもの虹情報研修センター、NPO法人児童虐待防止協会、NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取、NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク・しが、NPO法人彩の子ネットワーク、NPO法人MCサポートセンター(みっくみえ)、ながの子どもを虐待から守る会、NPO法人三重県子どもNPOサポートセンター、財団法人児童健全育成推進財団、NPO法人岡山市子どもセンター、NPO法人埼玉子どもを虐待から守る会、全国児童相談所長会、白河花里倶楽部、こども家庭支援センター シャローム、NPO法人新座子育てネットワーク、キャブネット・みやぎ(子ども虐待防止ネットワークみやぎ)、全国児童家庭支援センター協議会、岡山県教職員組合、NPO法人びじっと・離婚と子ども問題支援センター、オーバードライブ九州、オービックビジネスコンサルタント

(順不同・平成20年2月現在)

「子ども虐待防止オレンジリボン」の総合窓口 NPO法人・児童虐待防止全国ネットワーク

子どもたちと虐待に関わる各分野での情報交換や共同のソーシャルアクションを行い、また現状や見通しなど各分野からの意見・報告を積み重ねて検討したりシンポジウム等で発信したりする活動や、子ども虐待の現状や防止などについて広く啓発するための活動を行っています。厚生労働省の呼びかけによって子ども虐待問題に取り組む省庁及び関係団体が集う「児童虐待防止対策協議会」のメンバーです。

主な活動内容

- 子ども虐待に関わる法制度の改善のための啓発と現状に基づいた建設的な議論を重ねるためのシンポジウム等の開催
- 子ども虐待防止や支援活動、制度等に関する情報収集・提供・調査等の実施
- 「子どもの虐待死を悼みのちを讃える市民集会・パレード」など、子どもの虐待防止・支援環境等の改善、子どもの命の大切さなどを訴えるイベントの開催
- 子ども虐待防止のオレンジリボン運動事業の実施

平成19年度は全国100ヶ所以上でオレンジリボンを活用したイベントなどが開催されました。



平成19年12月、東京・日比谷公会堂等で「子どもの虐待死を悼みのちを讃える市民集会&パレード」イベントを開催し、集会に引き続き日比谷公園～銀座～東京駅前をオレンジリボンを身につけてのパレードを行い、子ども虐待防止を市民に広くアピールしました。

<http://www.orangeribbon.jp/>

発行／NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク
〒156-0043 東京都世田谷区松原1-38-19 東建ビル605
Tel・Fax: 03-6380-6380 E-mail: info@orangeribbon.jp
URL: <http://www.zenkokunet.org/>



子どもへの虐待をなくそう!

子ども虐待防止オレンジリボン運動

虐待によって、子どもたちの命や心が奪われ、傷ついています。
子ども虐待について理解し、虐待をなくすために、ぜひあなたの力をかけてください。
オレンジリボンには、「子ども虐待防止」というメッセージが込められています。
オレンジリボンを見たときに、子どもへの虐待防止を思い出してください。
オレンジリボンを胸につけ、子ども虐待の防止をアピールしてください。
子どもたちに希望にあふれた明るい未来を届けるのは、私たちの役目です。

《 オレンジリボン憲章 》

私たちは、子どもの成長と発達を支援することが社会全体の責任であることを自覚して、次のとおり行動します。

- 1 私たちは、子どものいのちと心を守ります。
- 2 私たちは、家族の子育てを支援します。
- 3 私たちは、里親と施設の子育てを支援します。
- 4 私たちは、地域の連帯を拡げます。

私たちは、子ども虐待のない社会を目指します。

総合窓口

NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク
オレンジリボン運動事務局

✉ Mail info@orangeribbon.jp ☎ Tel/Fax 03-6380-6380
📍 Add 〒156-0043 東京都世田谷区松原1-38-19 東建ビル605
🌐 URL <http://www.orangeribbon.jp/>

後援:内閣府 文部科学省 厚生労働省 日本子ども虐待防止学会 財団法人こども未来財団 読売新聞社 ほか



知ってください、オレンジリボン運動を…

オレンジリボン運動とは、

「子ども虐待防止」の象徴として「オレンジリボン」を広める市民活動です。
「オレンジリボン」には、子ども虐待の現状を広く知らせ、子ども虐待を防止し、虐待を受けた子どもが幸福になれるように、という気持ちをこめています。

2004年9月、栃木県小山市で二人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から川に投げ入れられて亡くなる事件が起きました。その事件をきっかけに小山市の「カンガルーOYAMA」が、子どもへの虐待防止を目指して2005年にオレンジリボンキャンペーンを始めました。

～二度とこのような悲劇が起こらないようにという願いから～

NPO法人「里親子支援のアン基金プロジェクト」がその活動に協力し、大きく育てました。
2006年からは、児童虐待防止全国ネットワークが総合窓口を担い、全国的にオレンジリボン運動として活動を広げています。

あなたにできること・・・

- まずは自分の子育てを振り返ってみてください。
- 虐待と思われる事実を知ったときは児童相談所や市区町村の相談窓口へ通告してください。
- 子育てに悩んでいる人は、ひとりで抱え込まずに電話相談してください。
- 虐待を受けた子どもたちの自立を支援する輪に協力してください。
- 全国子育て・虐待防止ホットライン ナビダイヤル 0570-011-077
- 虐待を受けた子どもたちの親代わり(里親)になってください。
- 午前10時～午後5時(一部地域を除き日曜・祝日休)
- 虐待で苦しんでいる子どもは、がまんしないで「チャイルドライン」に電話して相談してください。

「オレンジリボン」個人サポーターになってください

オレンジリボン運動を支援していただける個人サポーターを募集しています。

オレンジリボンサポーターとして、オレンジリボンバッジを胸につけ、子ども虐待防止をアピールしてください。子ども虐待の現状を知り、周りの人にも伝えてください。また、各地の自治体・虐待防止団体などの実施する虐待防止のためのイベントやシンポジウムなどへの参加や、ボランティアなどでご協力ください。サポーター登録には入会金、登録料、会費など費用は無料です。

お問い合わせ先・登録方法

- ☎ オレンジリボン運動のホームページから登録できます。(http://www.orangeribbon.jp/)
- ☎ インターネット環境にない方は、電話やFAXにてお問い合わせください。(オレンジリボン事務局 TEL&FAX:03-6380-6380)

オレンジリボン運動は皆様からのご寄付で活動しています。ご協力をお願いいたします。

【振込み先】

みずほ銀行 笹塚支店(161)
口座番号/普通預金 2326106
口座名義/トクビ) 児童虐待防止全国ネットワーク
オレンジリボン事業部

ゆうちょ銀行
口座番号/00160-6-726468
口座名義/特定非営利活動法人
児童虐待防止全国ネットワーク
※備考欄に「オレンジリボン」と記入してください

詳しくはホームページをご覧ください。

URL/http://www.orangeribbon.jp/

NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク オレンジリボン運動事務局
〒156-0043 東京都世田谷区松原1-38-19 東建ビル605
Tel/Fax:03-6380-6380 E-mail:info@orangeribbon.jp



子ども虐待防止 オレンジリボン運動を 広げましょう

虐待によって子どもの命が奪われるという、栃木県小山市で起こった痛ましい事件をきっかけに、オレンジリボン運動が市民の手で始まりました。オレンジ色は、里親家庭で暮らす子どもたちが選んでくれた色です。この色は、未来が太陽のように明るく暖かくあるようにという思いを表しています。

オレンジリボンには「子ども虐待防止」というメッセージが込められています。

オレンジリボンを見たときに、子どもへの虐待防止を思い出してください。オレンジリボンを胸につけて、子ども虐待防止の活動を全国に広げていきましょう。

オレンジリボン運動後援：内閣府、文部科学省、厚生労働省、日本子ども虐待防止学会 他

オレンジリボンは
布リボンで
簡単に作れます。



オレンジリボンのホームページの「サポートグッズ」のコーナーをご参照ください。

<http://www.orangeribbon.jp/>

オレンジリボン憲章

私たちは、子どもの成長と発達を支援することが社会全体の責任であることを自覚して、次の通り活動します。

- ① 私たちは、子どものいのちと心を守ります。
- ② 私たちは、家族の子育てを支援します。
- ③ 私たちは、里親と施設の子育てを支援します。
- ④ 私たちは、地域の連携を拡げます。

私たちは、子ども虐待のない社会を目指します。

子どもを虐待から守るための5カ条

- ① 「おかしい」と感じたら迷わず連絡
(通告してください)
- ② 「しつけのつもり」は言い訳
(子どもの立場に立って判断しましょう)
- ③ ひとりで抱え込まない
(あなたにできることから即実行しましょう)
- ④ 親の立場より子どもの立場
(子どもの命を最優先しましょう)
- ⑤ 虐待はあなたの周りにも起こりうる
(特別なことではありません)

NPO法人
児童虐待防止全国ネットワーク

〒156-0043 東京都世田谷区松原1-38-19 東建ビル605
TEL/FAX : 03-6380-6380
E-mail : info@zenkokunet.org
URL : <http://www.zenkokunet.org/>



子どもへの虐待防止に関わる各分野と
情報交換を行い、協働することで
子ども虐待の防止を広く
啓発するための活動を行っています。

NPO法人
児童虐待防止
全国ネットワーク

「子ども虐待」防止を広く啓発するための活動を行っています

設立の目的と経緯

「児童虐待の防止等に関する法律」（児童虐待防止法）が平成12年5月24日に成立しました（平成12年11月20日施行）。これを機に、有志が集まり、子どもへの虐待防止に関わる各分野との情報交換と、協働のソーシャルアクションとして、現状分析や提言を行ってきました。各分野からの意見や報告を積み重ねて検討し、3年後のよりよい防止法改正を目指して、「児童虐待防止法の改正を求めるネットワーク」が設立されました。

平成18年10月1日をもって、「児童虐待防止全国ネットワーク」と改称し、平成19年8月にNPO法人となりました。

厚生労働省児童虐待防止対策協議会の構成団体として活動しています。

会員募集

NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク

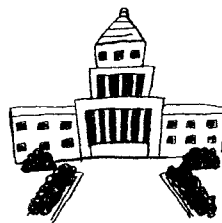
正会員 1人 5000円（/年）

賛助会員 1口 3000円（1口以上/年）

主な活動内容

■ 法改正への意見提言等

児童虐待防止法をより実情に合ったものに改正するために必要な調査等を実施し、他団体と協働して法改正への提言のとりまとめを行います。マスコミ等への情報発信も行っています。



■ 鎮魂集会、パレード等の実施

虐待でかけがえのない命を失ってしまった子どもたちを悼み、虐待で苦しむ子どもたちに思いを寄せ、「虐待のない社会にしていくなために行動しよう!」とアピールする市民集会やパレード等を実施しています。



■ シンポジウム・講演の実施

虐待された子どもを支え、子どもたちの生活環境やケアなどの向上を目指すため、また、子ども虐待のない社会を実現するために、一般の方や専門職の方に向けてシンポジウムや講演を実施しています。この他、勉強会実施などのお手伝いもいたします。



■ オレンジリボン運動の実施

子ども虐待防止オレンジリボン運動の総合事務局を担っています。街頭での布リボンの配布、パンフレットの作成等、広報・啓発活動を行っています。

